

**九州交運労協 第30回定期総会****持続可能な交通運輸・観光産業の確立を**

第 30 回定期総会 (福岡市)

九州地方交通運輸産業労働組合協議会 (九州交運労協) は 11 月 20 日、福岡市で「第 30 回定期総会」を開き、2020 年度の活動方針を満場一致で決定。ポスト・コロナ時代における持続可能な交通運輸・観光産業の確立にむけて「陸・海・空・観光・サービス」に働く 13 構成組織・2 万 3 千人が総力を挙げて奮闘していくことを確認した。(写真⑤)

= 総会議長に吉田春菜氏 (JR 連合)、九交運では初 =

九州交運労協結成から 30 年目となる本総会には、総会議長に JR 連合から「吉田 春菜」氏 (JR 九州労組) が選出された。女性の総会議長選出は、九州交運労協結成以降、初めてであり、結成 30 周年の記念すべき総会に花を添えた。

= JR 連合からは中原、宮路両氏を再任 =

役員改選では、議長に「中原 博徳」氏、事務局次長に「宮路 享」氏 (ともに JR 連合九州地協: JR 九州労組) が再任されるとともに、全体で 25 名の幹事会体制が承認された。

= 九交運議員懇第 1 回定期総会 = 会長に矢上雅義氏 (衆院熊本 4 区)

また、総会終了後には本年 8 月に設立された、九州交運労協政策推進議員懇談会 (以下、九交運議員懇) の第 1 回定期総会が行われた。

九交運議員懇は、毎年のように発生する大規模災害への対応や、新型コロナにおける対応など、私たち交通運輸観光産業が抱える様々な課題を政治の場に届け、九交運の政策活動を力強く推し進めていく目的で設立したものである。

総会では、会長に矢上雅義衆議院議員 (熊本 4 区) をはじめ、幹事長に山内康一衆議院議員 (比例九州)、幹事に江崎孝参議院議員 (全国比例)、吉川元衆議院議員 (比例九州) の九州出身・選出の 4 名の国会議員を選出。九交運との連携を強化し、政策課題実現にむけて取り組んでいくことを確認した。

コロナ禍における交通運輸観光産業の危機的状況を打破しよう!